

くらしの知恵袋

もっと知りたい
有機食品

有機農業は
土づくりから

野菜、コメ、果物、
茶やそれらの加工食
品に『有機JASマ
ーク』がついた有機
食品が目につくよう
になってきました。



有機食品は、そのつくり方（生
産段階）に特徴があります。

有機農業では、化学肥料と化学
合成農薬の使用を避け、遺伝子組
換え作物や放射線照射（収穫後の
殺虫、殺菌など）も使わず、自然
と調和した有畜複合（家畜飼養と
野菜・果樹・コメづくりを組み合
わせる）の資源循環型の農業を行
っています。

その基本は、腐植（有機質肥料
が腐熟したもの）に富んだ土づく
りです。家畜や家きんのふん尿を
稲わらや落ち葉などと混ぜ発酵さ
せて堆肥にし、土に返して肥よく
度を高め、丈夫な作物を育てるの
です（無農薬では、農薬は使用し
てはいけませんが、化学合成肥料と



土壌改良資材は使用してよいこと
になっていきます。

買う方・食べ方も
有機的に

現在、農作物やその加工食品に
『有機』という表示をするには、
農林水産省が設けた基準を満たし、
同省の登録認定機関から認定を取
得することが必要です。

これにより、私たちが商品を選
択する際の手がかりになる表示が
わかりやすくなりました。

しかし、外国産や遠隔地からの
流通もしやすくなったため、地域
の食、農、環境との有機的な関係
が薄れる恐れが出てきました。

マークだけに頼らずどこでつく
られたものか確かめてみましょう。
▼問い合わせ 市民課

☎1855

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

登別市民吹奏楽団



『登別市民吹奏楽団』は、「市
民吹奏楽団がないのはさびしい」
「となりまちにはあるのに、どう
して登別市にはないの」という声
にこたえて、市民有志が集まり結成
しました。

現在、メンバーは口コミなどで
集まった15人で、練習を毎週水曜
日18時から総合体育館で行って
います。楽器演奏を続けていた方も
いますが、しばらく楽器にさわっ
ていなかったという方もたくさん
います。

市内には吹奏楽部のある中学
校や高校があるので、しっかりと
した基礎があるはず。押し入れな
どで眠っている楽器を出して一緒
に音楽を楽しみましょう」と参加
を呼び掛けるのは、団長の伊藤麻
美さん。「誕生したばかりの吹奏
楽団ですから、まずは、仲間づく

これからの吹奏楽団を情
熱のある仲間と一緒に育
てていきます



りです。練習をして将来的には、
発表会をやりたいですね」

これまでは個人での練習で、合
奏などはできていませんでしたが、
待望していた指導者が決まり、こ
れから本格的な活動が始まります。

楽器演奏を続けていた竹村智晃
さんは「登別市に転入し、練習場
所を探していたところ、市民吹奏
楽団の話聞き、練習を見学後、
入団を決めました。音楽に対して
情熱のある方たちと一緒に活動し
たいですね」と話してくれました。
会場さえ確保できれば、水曜日
以外も練習したいとのこと。みな
さん、音楽に対する熱意は十分。
入団を希望される方は、伊藤さ
ん（☎0926）までどうぞ。